

公益社団法人 いいがた被害者支援センター

支援センターだより

2020年2月 第27号



「犯罪被害者支援フォーラム2019 in いいがた」開催

「犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）」に合わせ、新潟県（県民生活環境部県民生活課）、新潟県警（警務部警務課）、公益社団法人いいがた被害者支援センターが主催し、「犯罪被害者支援フォーラム2019 in いいがた」を開催しましたので、概要についてお知らせします。

- 1 開催日時
令和元年11月23日（土）13時30分～16時00分
- 2 開催場所
新潟市中央区上所2丁目2番2号
新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール
- 3 開催内容
 - 作文朗読（第8回命の大切さを学ぶ教室
全国作文コンクール 警察庁長官賞作品）
 - 講演 演題 「悲しみを生きる力に」
講師 「ミシュカの森」主宰 入江 杏氏
（講演要旨は2頁）
 - コンサート 県警音楽隊・カラーガード&
新潟市立小針中学校合唱部共演



● 作文朗読（第8回命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール 警察庁長官賞作品）

「痛み、分からずとも」

長岡工業高等専門学校3年 細木 真歩さん



細木さんの作文「痛み・分からずとも」は、令和元年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールで警察庁長官賞を受賞しました。

「車の事故で大切な旦那さんを亡くした方の話を聞き、思ったことを一気に書いた記憶があります。ただ、受賞の連絡があるまで内容のことをよく覚えていませんでした。これまでは他人事だった被害者支援が受賞を機に『被害者支援』が少し身近になったような気がします」と細木さん。

講演を行なった入江杏さんのお話には「犯罪被害者家族としていろいろなことを考えて活動されている行動力に尊敬の念を抱きました。『グリーンケア』という言葉も今日初めて知りました」

と得るところが大きかった様子です。

同コンクールでは他に、県立燕中等教育学校1年の湯川心愛さんの作文「明るい未来を目指して」が中学生の部・警察庁犯罪被害者支援室長賞を受賞しています。細木さん、湯川さん、受賞おめでとうございます。

研修を積んだ相談員が対応します。

相談電話

新潟地区 ☎ 025-281-7870

中越地区 ☎ 0258-32-7016

上越地区 ☎ 025-522-3133

- 相談日 月～金
（祝日・年末年始は除く）
- 相談時間 10時～16時

面接相談
予約が必要

直接支援

秘密厳守・相談支援無料

● 講演 演題 「悲しみを生きる力に」
講師 「ミシュカの森」主宰 入江 杏氏

プロフィール

2000年末、世田谷事件で隣家に住む妹一家四人を失う。犯罪被害の悲しみ・苦しみと向き合い葛藤の中で「生き直し」をした体験を経て講演・執筆活動を行う。悲しみの発信から再生を模索する人たちのネットワークづくりに努める。上智大学グリーンケア研究所非常勤講師、世田谷区グリーンサポート検討委員。著書に「悲しみを生きる力に～被害者家族からあなたへ」（岩波書店）「ずっとつながってるよ～こぐまのミシュカのおはなし」（くもん出版）他多数。



2000年の大みそか、20世紀最後の日に発覚した世田谷事件で、私は妹一家四人を失いました。4人の亡骸を目の当たりにしたのは私の母です。警察は大きな事件に意気込み、マスコミも浮足立っていました。あの日以来、私たちの穏やかな日常は失われ、私たち家族の運命は大きく変わってしまったのです。

母は殺人事件に巻き込まれたことを「恥」と感じていました。なにひとつ後ろ指さされることのないのに、ただ事件に巻き込まれたというだけでも、世間から白い目で見られる、というのです。世間の目を、マスコミに晒されることを、何より恐れていました。理不尽だとは思いましたが、母の悲しみの前にどうしていいかわかりませんでした。最愛の娘一家全員に先立たれた悲しみというだけでなく、第一発見者になってしまったトラウマ、心の傷に向き合うには、生真面目で細やかな神経の持ち主だった母には辛すぎたと思います。事件との関わりを世間に知られることを極端に恐れ、自分の気持ちに蓋をしたまま、周囲の人には悲しみを吐露することもできませんでした。

母は事件後、娘の私以外には心を開くことができませんでした。私だけが母の悲しみの聴き手にならざるを得ませんでした。誰にも言えないからです。勿論、警察には捜査協力として、母は知っていることのすべてを話しました。捜査のために母の元に日参していた警察は、母に話を聞いても事件解決のヒントがない、と感じられると、潮が引いたようになってなくなりました。トラウマを抱えた母の話はどんなに聴いても私一人では背負いきれません。家族だけ

にケアの負担を背負わせてはならない、と社会の側が認識することが大切だと思います。

遺族は、どうして助けてあげられなかったのか？という自責の念に苦しみます。グリーンケアの学びによって、サバイバースギルト（生き残った者の自責の念）という苦しみだと知りましたが、当時はただただ苦しく辛い日々でした。私が前を向くきっかけとなったのは、妹の長女にいなちゃんの遺してくれた一枚の絵です。この一枚の絵の物語は「悲しみを生きる力に」（岩波書店、岩波ジュニア新書）という拙著に詳しく書いてありますので、是非読んでみてください。また、子どもたちが可愛がっていたぬいぐるみの「ミシュカ」を主人公に絵本を出版したことで、共感の輪が広がるようになり、ミシュカの名を冠した「ミシュカの森」というイベントも今年で14回目になります。

本日頂いた「支援センターだより」の巻頭に「犯罪被害者支援に正解はない」という一文があるように、被害者や被害者の家族・遺族は、百人いれば百通り、多様でそれぞれのニーズは異なります。そのニーズに応えるためにはまず「聴く」ことです。聴くことは、一見、受動的に見えますが、実は大きなサポートになります。悲しみを抱えた人が援助希求行動を取ろうとしても、支え手の側に「聴く」姿勢がなかったなら、どうしてSOSの発信ができるでしょうか？困っている時「助けて」と言い得る社会であってほしい。「聴く」ことにより「他人事」が少しずつ「自分事」になっていくのです。

本日は聴いて下さってありがとうございました。

● コンサート 県警音楽隊・カラーガード&新潟市立小針中学校合唱部



フォーラムの最後を飾ったのは、毎年恒例となった県警音楽隊によるコンサート。今回は、第72回全日本合唱コンクール全国大会で銅賞に輝いた新潟市立小針中学校合唱部と県警音楽隊・カラーガードが楽しいステージを繰り広げました。中学校合唱部と一緒に「Lemon」「手紙」などで美しいハーモニーで聴衆を魅了していました。

フォーラム会場ロビー風景



令和元年度イベント会場での広報活動



6月15・16日 OKIデンタルフェア



7月16日 新潟県交通安全フェア



9月1日 糸魚川クラシックレビュー



10月10日 新発田交通安全大会

支援活動実績一覧表

2019年4月～12月現在

区分	殺人・殺人未遂	強盗・窃盗	性犯罪	暴行・傷害	その他の身体犯	交通事故	DV・ストーカー	虐待	その他	計	備考	
電話相談	23	5	278	39	0	108	21	0	92	566		
面接相談	3	0	25	5	0	8	2	0	0	43		
直接支援	裁判傍聴付添	9	0	2	1	0	13	2	0	27	裁判傍聴付添、代理傍聴等	
	警察署付添等	0	0	1	0	0	0	1	0	2		
	検察庁付添等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	弁護士相談付添	3	0	9	3	0	5	3	0	24		
	行政等関連機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	保護観察所・刑務所付添、行政窓口連絡調整等	
	病院・臨床心理士	5	0	11	0	0	0	0	0	16	病院付添、臨床心理士紹介	
	生活支援等	1	0	0	0	0	0	0	0	1	家事手伝い	
	自宅訪問	0	0	4	0	0	5	0	0	9		
	その他	1	0	3	1	0	6	2	0	1	14	被害者遺族への情報提供等
	計	19	0	30	5	0	29	8	0	2	93	
合計	45	5	333	49	0	145	31	0	94	702		

〈概況〉

電話相談は4月から12月までの9ヶ月間で566件、月平均60件余りである。そのうち性犯罪は278件（49%）で約半分を占めている。交通事故は108件で約20%、次いで、暴行・傷害39件（約7%）、殺人・殺人未遂23件（約4%）、DV・ストーカー21件（約4%）と続く。また、性犯罪が面接相談の25件（58%）を占め、直接支援も30件（32%）と他の事件・事案に比べて多い。平成28年12月に性暴力被害者支援センターにいがたを開設して以降、性暴力・性犯罪被害に係る各種支援活動が伸びている。

犯罪被害者等支援条例の制定に向けて

犯罪被害者等基本法に全ての犯罪被害者は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利を有していること及び国、地方公共団体の責務等が規定され、さらに犯罪被害者支援関連の法律が制定されるなど、近年、犯罪被害者救済制度の拡充が図られています。しかし、残念ながらいまだ不十分と言わざるを得ない現状にあります。

現在、全国で20道府県に日常生活の支援や見舞金支給、居住の安定などを盛り込んだ犯罪被害者支援に特化した条例が制定、施行されています。

本県は、県と県内市町村に同様の条例はありませんでしたが、県議会12月定例会本会議において知事が犯罪被害者や遺族の支援に向けた条例を制定する考えを示し、2月に県条例制定のための有識者会議を立ち上げております。

条例の制定は被害者にとっての「拠り所」ができるということです。よりよい条例が制定されることを願っております。

社会に広げよう 被害者支援の輪



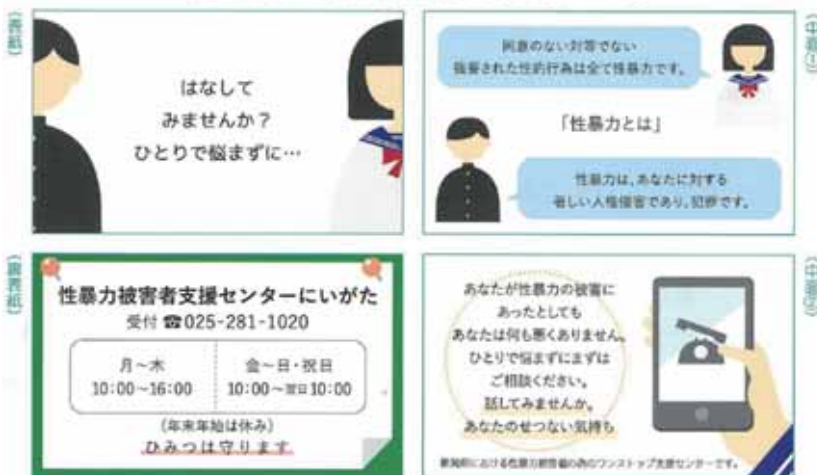
小中学生向け「性暴力被害者支援カード」を作成しました

「性暴力被害者支援カード」は小学生（4年生以上）、中学生対象としたカードです。県下小学生（4年以上）55,800人・中学生55,300人、計111,100人に令和元年12月に配布しました。

小学生向け「性暴力被害者支援カード」



中学生向け「性暴力被害者支援カード」



このカードは名刺サイズの2つ折り。小学生向けは、愛らしい猫・鶏・ウサギのキャラクターが描かれたものでやさしい言葉で「勇気を出して相談してみましょう」と呼びかけています。中学生向けは制服姿の男女がモチーフ。スマートフォンのイラストと共に「一人で悩まず相談してください」と語りかけています。

子どもたちがカードで性被害を知り、考え、相談に移せるよう、また子どもが被害を受けたことで保護者はどうすればよいか等考えてもらうよう作成しました。

子どもたちがカードで被害を示したり話したりするときは、子どもの気持をよく聴いてください。勇気を出して話してくれた子どもの力をほめてください。

困ったときは迷わず
**「性暴力被害者支援センター
 にいがた」**へご相談ください。
秘密厳守 ☎025-281-1020
 月～木 10:00～16:00
 金～日・祝日 10:00～翌日10:00
 (年末年始は除きます)

カードは小・中学生とも長谷川真歩さんのデザインが採用されました

カード作成にあたっては、新潟デザイン専門学校（新潟市中央区）グラフィックデザイン科1年延べ70名のデザイン作品から投票で最優秀賞に選ばれた長谷川真歩さんの作品（小中学校とも）を採用しました。令和元年12月10日（火）新潟デザイン専門学校デザイン科において行われた表彰式において、にいがた被害者支援センターの井口専務理事から長谷川真歩さんに、表彰額と図書カードが贈られました。



被害者遺族の手記「天国にいるあなたへ」 第6集を発行しました

平成24年11月に第1集を発行して以来、今回、第6集を発行することとなりました。この間、交通死亡事故事件等のご遺族、ご家族の方々を中心とした自助グループ「ひまわり」の皆様から多数の寄稿を頂きました。

また、今回も6名の方から寄稿して頂き、改めてお礼申し上げます。

手記から見てくることはその後の生活が一変してしまったご遺族の多いことです。「幸せの絶頂から地獄へ突き落とされた気分です。」と書かれたご遺族もおられます。また、『過失』と裁判で認定されたものについて『考えられない危険な運転』もしくは『殺人事件』と考えておられる方も少なからずおられることが分かります。

事故事件によりどのようなことが生じたのか、どのような苦しみに襲われたのかは、それを経験された方以外には分かりにくいことです。手記を発行することは被害者のご遺族、ご家族の想いを社会全体で共有することに少しでもつながるのではないかと考えています。



冊子をご希望の方は下記事務局までご連絡下さい。

公益社団法人 にいがた被害者支援センター 事務局
TEL/FAX 025-281-2131

JA 越後さんとう様、JA にいがた南蒲様に 被害者支援自販機が設置される

にいがた被害者支援センターは、当センターの主力活動財源である被害者支援自動販売機の設置を呼び掛けています。この度、新たに被害者支援自動販売機を設置いただいたJA 越後さんとう様、JA にいがた南蒲様へ感謝楯を贈呈しました。

JA 越後さんとう様



JA にいがた南蒲様



被害者支援自動販売機の設置によるご支援のお願い

にいがた被害者支援センターの行う活動に賛同し、社会貢献活動の一環として被害者支援自動販売機の新規設置、または切り替えをしていただける事業所・団体を募集しています。設置・切り替えをしていただくことにより、自動販売機の売り上げの一部を当センターに寄付されるシステムとなっています。ぜひご支援・ご協力をお願いいたします。

(ご連絡はセンター事務局 025-281-2131)

令和2年1月末日現在の協力飲料メーカー及び設置ご協力企業・団体様は次の通りです

●コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

◆民間事業所等

松本機工(株)、(株)草間組、田中産業(株)、雄志レジデンス、(株)ケー・ピー 24、(株)サン・メタル、(株)リクシルトータルサービス、新潟文化自動車学校、(株)ハマサービスオリックスレンタカー、ガレージプロセス、日本自動車販売店協会連合会新潟県支部、丸克建設(株)、新潟県司法書士会、新潟信愛病院、新潟大学前駅駐り場、新潟中央自動車学校、田中運輸機工(株)、土田商店、東日本高速道路(株)新潟支社道路管制センター、三幸総業(株)、(有)ランニング、(有)オービット、(有)瀬戸川工業所、涌井建設工業(株)、萬代電業(株)、(株)水原自動車学校、(株)萩田換地、JA 越後さんとう、JA にいがた南蒲

◆警察関係

県警本部(3F、4F)、運転免許センター(新潟、長岡、上越)、機動隊、新潟署、新潟東署、新潟西署、新潟北署、佐渡署、新発田署、村上署、秋葉署、三条署、西蒲署、燕署、見附署、小出署、十日町署、柏崎署、糸魚川署、長岡署

●サントリービバレッジサービス(株)

新潟署、新潟中央署、新潟東署、江南署、新潟北署、新発田署胎内分庁舎、阿賀野署、五泉署、新潟南署、加茂署、長岡署、小千谷署、南魚沼署、上越署、妙高署

●FVジャパン(株)

田中産業(株)上越、田中運輸機工(株)、(株)草間組、新潟関屋自動車学校

●ダイドードリンコ(株) (株)上杉興業、警察学校、加茂署、運転免許センター(新潟)

●(株)コーシン

運転免許センター(新潟)(長岡)、新潟西署
警察学校、新潟中央署、新発田署

●(株)塚田牛乳 運転免許センター(新潟)、県立新潟高校

●新発田ヤクルト販売(株) 津川署

●(株)ジャパンビバレッジイースト 機動隊、警察学校

●(株)和光ベンディング

柏崎署、与板署、新潟県庁(新潟県職員生活協同組合)、
運転免許センター(新潟)、交通機動隊、警察学校

●(株)アベックス 運転免許センター(新潟)

●小柳乳業 新潟中央署



イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」でのご協力のお願い

イオンリテール(株)様では地域社会への貢献の一環として地域で活動するボランティア団体等に助成する「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を行っています。

毎月11日にイオン新潟南ショッピングセンターで買い物され、店内各所に設置された投函コーナーの当センターボックスに投函して頂きますと、レシート金額1%相当額の物品がイオンリテール(株)様から当センターへ寄贈されます。当センターでは、これを支援活動等の事務用品などに有効活用させていただきますので、皆様ご協力をお願いいたします。



にいがた被害者支援センターの
ボックス番号はNo15番です



イオン新潟南ショッピング
センター投函ボックス
(食品売り場前に設置)

皆様のご支援ありがとうございます。

協力者御芳名

(2019年4月1日から12月31日までの会費及び寄付を頂いた方々を掲載させていただきました。 順不同・敬称略)



正会員・団体

新潟県市長会
新潟県精神科病院協会
関東信越税理士会新潟県支部連合会

新潟県町村会
新潟県精神保健福祉協会
学校法人新潟青陵学園

新潟県弁護士会
(一社)新潟県医師会

正会員・個人

井口 善雄	大島 照美子	北山 桂子	佐藤 康司	富山 スミエ	藤巻 強生
池田 伸一	太田 信子	栗山 啓	佐藤 理智子	中嶋 久美子	星野 理香
伊藤 末松	大竹 玲子	甲野 勝機	山後 晴雄	中曽根 えり子	堀 洋子
稲餅 武雄	大橋 純子	小島 功	獅子山 教子	長塚 康弘	本間 サチ子
井上 桐子	荻野 佳美	小濱 恵子	島 典子	中村 協子	眞壁 伍郎
宇田 正	落合 光雄	小林 ひとみ	反町 道夫	中村 知子	渡邊 千香子
運上 司子	貝瀬 尚久	駒野 祐子	高野 義雄	饒村 悠子	渡辺 豊
江花 里都	金子 英明	近藤 麻美子	高橋 由美子	早福 弘	
遠藤 和成	釜田 眞智子	坂井 明都	瀧澤 尚以	平尾 公子	
大木 満子	上村 アイ子	櫻井 香子	橋 玲子	廣川 廣実	他匿名希望者9名
大澤 優子	川上 耕	佐藤 志津	津野 恒子	藤田 正行	

賛助会員・団体

(一財)新潟県自動車練習所	(有)マルヨシ自動車整備工場	小林石油(株)
(一社)五泉市東蒲原郡医師会	アドリテム司法書士法人	新発田ガス(株)
(一社)三条市医師会	沖歯科グループ	セコム上信越(株)
(一社)新潟県安全運転管理者協会	(株)いやしライフ	第一建設工業(株)
(一社)新潟県解体工事業協会下越支部	(株)エーアイクリエイト	長岡タクシー(株)
(一社)新潟県解体工事業協会中越支部	(株)大橋商会	富山電気(株)
(一社)新潟県警備業協会	(株)コロナ	新潟総合警備保障(株)
(一社)新潟県指定自動車教習所協会	(株)島津組	新潟万代島総合企画(株)
(一社)新潟県商工会議所連合会	(株)ソーゴ	ネットトヨタ越後(株)
(一社)見附市南蒲原郡医師会	(株)大創	北越警備保障(株)
(一社)村上市岩船郡医師会	(株)たいよう共済新潟支店	マルシン食品(株)
(医法)愛クリニック	(株)燕タクシー	マルソー(株)
(医法)青松会松浜病院	(株)トーア	源川医科器械(株)
(医法)敬成会白根緑が丘病院	(株)富岡鉄工所	ダイセー歯科クリニック
(医法)恵和会木暮歯科	(株)新潟食品運輸	滝澤歯科医院
(医法)健進会新津医療センター病院	(株)萩田換地	新潟県行政書士会
(医法)谷澤整形外科クリニック	(株)福田組	新潟県建設業協会与板支部
(医法)津南デンタルクリニック	(株)古田組	新潟県民共済生活協同組合
(医法)根津歯科医院	(株)三原田組	新潟県司法書士会
(医法)松崎歯科医院	(株)ワールドライン	新潟県遊技業協同組合
(特医法)楽山会三島病院	(株)渡大組	新潟県労働金庫
(学法)明倫学園明倫短期大学	柏崎総合医療センター	新潟信用金庫
(公財)新潟県暴力追放運動推進センター	空手道クラブ空美会	新潟万代ロータリークラブ
(公社)新潟県看護協会	頸城自動車(株)	新潟薬科大学
(公社)新潟県薬剤師会	桑原歯科医院(下木戸)	日本歯科大学新潟生命歯学部
(社福)グループホームやしろだ	県央加工協同組合	山川歯科医院

賛助会員・個人

相澤 いづみ	小幡 政行	小村 隆	高橋 高一	半藤 千枝子	山田 俊博
青木 和司	貝瀬 松美	小山 高司	高橋 節子	平澤 敏夫	山田 ひろ子
青木 優子	風間 康則	小山 晴代	竹内 邦彦	廣川 明	山野 芳生
青柳 芳郎	加地 正樹	近藤 正明	田下 厚子	広沢 憲隆	横田 光義
阿部 隆	金子 優	齋藤 謙三	田中 稔	廣島 ひろ子	吉野 美穂子
阿部 政志	金子 和子	嵯峨 トシ	田村 いづみ	藤崎 藤作	吉田 耕二
井伊 務	金子 直樹	坂井 秀弥	築井 一琢	藤沢 直子	渡辺 茂子
五十嵐 喜一	神田 武司	酒井 正昭	津野 敏江	豊納 万穂子	渡辺 雅直
五十嵐 久	鬼島 基伸	桜井 正二	中川 紀子	細野 紀雄	渡部 信子
池田 正友	木村 眞悟	櫻井 春夫	永倉 税	細山 愷	渡部 文雄
石川 伊作	久我 正作	櫻井 英喜	中倉 一浩	堀川 誠一	
和泉澤 貞子	工藤 和雄	佐藤 あずさ	中澤 泰二郎	本間 満	
板垣 隆	栗賀 隆	佐野 實	中林 昭三	本間 武志	
稲田 秀樹	栗山 祥子	佐野 稲子	中村 久子	本間 由美子	
稲餅 三重子	栗山 宣子	佐原 菖一	中村 光春	前山 憲三	
今井 千恵子	栗山 英雄	澤村 陽一	西山 正	三上 剛明	
今田 芳明	栗山 勝江	嶋田 啓介	西脇 和子	水莖 芳英	
氏家 信彦	栗山 美智子	須貝 恵吉	二平 正司	水野 俊一	
江森 謙太郎	香田 一男	鈴木 俊	野上 正	宮崎 正夫	
遠藤 記恵子	小島 一則	砂田 徹也	野上 信子	武藤 末次	
大島 證道	後藤 直樹	関 洋一	野澤 修	村山 和子	
太田 等	小林 彰	瀬藤 純	灰野 博	森 二十男	
大矢 靖夫	小林 澄夫	相馬 清吉	橋本 謹也	森田 敏明	
小熊 力	小林 則幸	高岡 光夫	長谷川 進	柳本 雄司	
押見 清雄	古俣 英樹	高野 雅史	長谷川 虹兒	山岸 良男	
小田島 美智子	小松 茂樹	高野 優子	林 隆行	山崎 幸雄	
小野 栄	小宮 光昭	高橋 和博	半戸 哲夫	山田 一	



寄付・団体

(一社)新潟県安全運転管理者協会	曹洞宗保護司連合会	新潟県信用保証協会
(有)魚沼ロードサービス	(新潟県第一宗務所支部)	表示灯(株)東京支店
(有)藤田豊商店	燕市保護司会	ミツワ興業(株)
イオンリテール(株)	長岡蒼柴ライオンズクラブ	[募金箱]
川崎パウメット	長岡柏ライオンズクラブ	犯罪被害支援フォーラム
(有)佐渡ビル管理	長岡ライオンズクラブ	沖歯科グループ
県警初任課第328期・同期会	新潟北ロータリークラブ	運転免許センター

寄付・個人

我孫子 幸子	遠藤 智子	甲野 勝機	高岡 光男	長谷川 進	若槻 吉宏
阿部 弘行	大花 真人	坂上 薫	高野 毅	前山 憲三	和田 武次
有坂 康治	押見 清雄	佐藤 晃	高野 義雄	藤田 雄一	
井口 善雄	小田島 美智子	佐藤 敏彦	高橋 忠男	藤巻 元雄	
石沢 松江	落合 光雄	佐藤 陽一	武井 慎次	丸山 昌治	他匿名希望者4名
伊藤 秀夫	金子 修(弁護士)	佐藤 直美	田伏 智	宮川 貴浩	
今井 直樹	金子 和子	菅井 育生	遠山 知行	山崎 堅輔	
岩崎 治光	北山 桂子	鈴木 重彦	中澤 泰二郎	山崎 トシエ	
遠藤 貴之	栗山 啓	関 隆男	中嶋 孝司	山本 千鶴	
遠藤 英子	小出 行雄	大道寺 雅夫	野口 祐郁	吉野 美穂子	



公安委員会・警察本部

新潟県公安委員会	装備施設課	サイバー犯罪対策課	組織犯罪対策第一課	運転免許センター
新潟県警察本部長	監察官室	地域課	組織犯罪対策第二課	交通機動隊
総務課	厚生課	通信指令課	鑑識課	高速道路交通警察隊
教養課	情報管理課	鉄道警察隊	科学捜査研究所	警備第一課
広報広聴課	生活安全企画課	刑事総務課	機動捜査隊	警備第二課
警務課	子供女性安全対策課	捜査第一課	交通企画課	外事課
留置管理課	少年課	捜査第二課	交通指導課	機動隊
会計課	生活保安課	捜査第三課	交通規制課	警察学校

警察署

新潟署	新潟北署	津川署	西蒲署	与板署	柏崎署
新潟東署	佐渡署	五泉署	燕署	小千谷署	上越署
新潟中央署	新発田署	秋葉署	加茂署	小出署	妙高署
新潟西署	村上署	三条署	見附署	南魚沼署	糸魚川署
江南署	阿賀野署	新潟南署	長岡署	十日町署	

※誤字・脱字がございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

ホンデリング ～本でひろがる支援の輪～

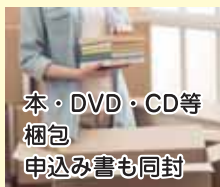
読み終えた本やご不要なCD、DVD、ゲームソフトをご寄付ください

皆様からの本のご寄付が、犯罪にあわれた方の支援につながります。にいがた被害者支援センターでは、全国被害者支援ネットワークの「ホンデリングプロジェクト」に参加しています。これは、寄贈された本などの売却金をご寄付として、犯罪被害に遭われた方への支援活動に役立てるプロジェクトです。



買取できる本・CD・DVD・ゲームソフトは ISBNコード（規格品版）のついているもの

（百科事典・コンビニコミック・個人出版本・漫画雑誌・一般雑誌はお取り扱いしてません）



本・DVD・CD等
梱包
申込み書も同封

5冊以上は
送料無料

バリューブックスへ回収依頼
☎ 0120-826-295
回収業者が集荷

にいがた被害者支援センターへ
買取相当額の寄付

申込み書（贈与承諾書）は、事務局（025-281-2131）へお申し付け下さるか、当センターホームページからダウンロードいただけます。

賛助会員募集・寄附金のお願い

当センターの活動は、主に皆様の賛助会費や寄附金に支えられています。皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしています。

年会費 ●個人賛助会員／1,000円 ●団体・法人賛助会員：10,000円
※一口以上何口でもご加入いただけます。

お振込先（郵便振替口座）

●口座名義：公益社団法人 にいがた被害者支援センター
●口座番号：00530-1-84482

税法上の優遇処置について

当センターへの賛助会費・寄附金は、特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄付優遇処置の対象になります。また、特に個人の方からの賛助会費、寄附金は、税額控除の対象になります。

支援センターだより 第27号
(2020年2月)

編集・発行：公益社団法人
にいがた被害者支援センター

事務局：〒950-0994
新潟市中央区上所2-2-3
新潟ユニゾンプラザハート館
TEL・FAX 025-281-2131
<http://www.n-vsc.jp/>